

## 令和4年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・実践的、体験的な活動を多く取り入れることで、制作することに自信をもたせることができ、技能の向上が見られた。
- ・調理や裁縫において、材料に工夫した一品を加えてよりおいしいものを作成したり、不要品からリフォームして、必要なものを作ったりする活動を通し、自分の課題に向かって創意工夫し、積極的に学習に取り組み、生活を豊かにする工夫や実践を行えるように学習を設定できた。

#### (2) 課題

- ・技能の向上は見られるが、なぜそうするのか、その必要があるのかという知識面とのつながりが希薄な児童もいる。さらなる知識の定着のための工夫が必要である。
- ・家族の一員として、協力できるための技能を身に付けることはできたが、各家庭の環境もあり、実際に家庭生活において実践に結び付けることは難しい。

### 2 今年度の分析（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な理解と技能の向上のため、毎時間の学習指導の流れを工夫する。そのため、ICT 機器の活用、スモールステップを意識した学習、実習の効率化と充実などを進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を伴う学習では、各自に課題をもたせ、話し合いを行ったり、各家庭での工夫を発表し合ったりして、問題解決型の学習などを進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、学習したことを家庭で実践できるようにするため、児童一人一人が自信と意欲をもてるよう学習を進める。お手伝いカードなど宿題を出し、各家庭の協力などを得ながら進める必要がある。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業方法を分かりやすくするために ICT 機器を利用したり、図示したりと、視覚的教材の効果を得られるようにする。また、理解を深めるためスモールステップによる作業や、作業に慣れるためできるだけ実習回数を増やす等の工夫をする。</li> <li>・2年間の見通しをもった指導を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理では材料に工夫した一品を加えてよりおいしいものを作成する、裁縫の制作では、自分のアイデアを生かし、生活に必要な物を工夫するなどの課題をもたせることで、問題解決型の学習を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動や体験的な学習を通して、ものづくりの楽しさや手作りのよさを体感させ、児童が物を大切にしたり、感謝の気持ちをもったりできるように、支援をする。また、学習の振り返りをさせることで、児童が次の目標をもてるようにしていく。</li> </ul>